

ケーススタディ

# Oracle Databaseのサポートを第三者保守に移行し VRやクラウドへの投資を実現



## フジテック株式会社

### フジテック株式会社

フジテック株式会社は、エレベータ・エスカレータ・動く歩道など、空間移動システムの開発から販売、製造、据付、保守・モダンゼーション(設備更新)までを一貫体制で行う専門メーカー。

業種：製造業

本社：滋賀県彦根市ビッグウィング

従業員数：2,875名(単独/2017年3月31日現在)

サポート対象製品：Oracle Database 10.2.0.5,  
11.2.0.4

# FUJITEC

「保守サポートをリミニストリートに切り替えたことでITコストは大幅に削減され、迅速な決断は正しかったと確信しています。当社のビジネス成長のために、現場と同じ温度感を持ち、会社全体で全力を尽くして対応して頂けるサプライヤーに出会ったのはこれが初めてのことで、リミニストリートのサポートエンジニアには大きな感銘を受けています。この協力関係がこれからも長く続くことを期待しています」

### フジテック株式会社

常務執行役員 情報システム部長  
友岡 賢二氏

フジテックは1948年に日本で創業し、現在25の国と地域でビジネスを展開。世界10か所に生産拠点。

### フジテックの課題

エレベータやエスカレータは、物件ごとに高度にカスタマイズされ、厳しい安全要件があるため、高品質の製品やサービス提供を保証するだけでなく、効率的な経営のためにも幅広いデータを収集し、活用する必要があります。

フジテックでは従来、データセンターモデルを中心に構築された独自のアプリケーションとデータベースの運用を行ってきました。しかし、近年、クラウドを中心としたハイブリッドインフラに戦略を切り替えたことで、これまでのデータベースベンダーによるサポートモデルの限界と、データベースの高コストな保守費用が課題となっていました。

そこで、同社 常務執行役員 情報システム部長の友岡賢二氏は、ITコストを最適化すると同時に、ITインフラをクラウドへ移行させることに焦点を合わせた新たな戦略を推進して来ました。友岡氏は次のように述べています。

「IT予算をバランス良く分配すること、特に既存システムの維持管理費用を低減し、革新的なクラウドベースのシステム構築に積極的に投資が出来るような好循環を生み出すことが目標でした」

同社はこれまで、ミッションクリティカルなデータベースに対してOracleから受けているサポートサービスに満足しているわけではありませんでした。そのひとつが、インスタンスの一部が「Sustaining Support」に移行され、それらの新しいパッチや修正、認証が対象から外されたことです。しかし、何より大きな問題は、Oracleのサポート継続にかかる高額な費用でした。年間サポート費用が企業の革新の妨げになっているとさえ言える状況となっていました。

そこで友岡氏は、データベースの整合性と継続的な運用を損なうことなく、年間費用を削減できる選択肢について検討を始めました。

### リミニストリートのソリューション

友岡氏は、データベースのサポートをリミニストリートに切り替えて年間保守料金を即座に半減できたことが、同社の大きなITコスト削減につながったと語っています。また、専任のサポートエンジニア (Primary Support Engineer) が割り当てられることのメリットは非常に大きく、第三者保守サポートに移行するという決断が正しかったことを強く確信できたと話しています。

**メリット**

**保守費用の削減:** Oracle Databaseのサポート費用を年間50%削減すると同時に、追加費用なしで、よりプロアクティブなサポートとパフォーマンスチューニングなど追加の付加価値サービスも受けられる。

**保守サービスの向上:** フジテック独自のシステムに精通したエキスパートを専任のサポートエンジニア (PSE) として割り当てることで、より迅速に問題を解決。

**IT戦略の柔軟な運用:** 今後数年間、安定した効率的なOracle Database環境を安心して利用し続けることができ、システムサポートのみを目的としたアップグレードに代わり、新しいクラウドベースのシステムを導入することなどによる革新を実現。



「リミニストリートの場合、専任のPSEから高品質なサポートが提供されるため、その信頼感は絶大です。サポートエンジニア(PSE)が他のテクニカルエンジニアとの調整役も果たしながら、当社の問題を解決へと導いてくれます。そして、当社の問題を迅速かつ効果的に解消することに全力を注いでくれる上、常に情報提供も怠りません。」

**フジテック株式会社**

常務執行役員 情報システム部長  
友岡 賢二 氏

友岡氏はさらに次のように述べています。

「重大な問題が発生したときにサポート担当者とは直接話しができないと、大きな不安とストレスを感じるものです。リミニストリートの場合、専任のサポートエンジニア(PSE)からタイムリーで高品質なサポートが提供されるため、その信頼感は絶大です。PSEが他のテクニカルエンジニアとの調整役も果たしながら、当社の問題を解決へと導いてくれます。そして、問題を迅速かつ効果的に解消することに全力を注いでくれる上、常に情報提供を行ってくれることが大きな安心へと繋がっています。」

同社は、リミニストリートから通常のサポート以外にも、追加費用なしでパフォーマンスチューニング、アップグレードのサポート、セキュリティに関するアドバイスを受けることもでき、クリティカルなシステムの長期的な安定性を確保できています。

**サポート切り替えの成果**

同社は、サポート費用の削減分を他の戦略的領域やアプリケーションに投資することで、クラウドを中心としたハイブリッドITのインフラ構築を推進しています。その一例がモバイルデバイスの有効活用です。IT投資や社内リソースをモバイルベースの情報システム開発に割り当てることで、現場の保守技術者の業務効率を改善し、より優れたカスタマーサービスを顧客に提供できるようになりました。さらに、IoT新技術にも積極的に投資を行い、エレベーターの保守品質向上に役立っています。

現在のIT部門は、守りのIT領域への費用負担やサポート負荷から解放され、最新の革新的技術によって企業の成長に貢献する攻めのIT領域に注力することができるようになりました。

友岡氏は、リミニストリートの保守サービスの内容が、これまでのベンダーサポートに比率的に改善されていることに触れ、次のように述べています。

「リミニストリートの担当者は経験も知識も豊富で、専任のサポートエンジニア(PSE)はOracle Databaseに対し平均15年以上の経験を持っています。P1 (優先度1) のケースが発生した場合には迅速にプロアクティブなサポートを開始し、すぐに問題解決にあたります。当社ビジネスの成長のために、現場と同じ温度感を持ち、会社全体で全力を尽くして対応して頂けるサプライヤーに出会ったのはこれが初めてのことで、リミニストリートのサポートエンジニアには大きな感銘を受けています。この協力関係がこれからも長く続くことを期待しています。」

\*本事例中に記載の肩書きや、固有名詞等は事例公開当時のものであり、現在は変更されている可能性がございます。

**日本リミニストリート株式会社**

〒163-1030東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー N30階 電話 03 5326 3461 Fax 03 5326 3001

contactjp@riministreet.com www.riministreet.com/jp

本社: 米国ネバダ州ラスベガス

©2018 Rimini Street, Inc. All rights reserved. Rimini StreetおよびRimini Streetのロゴは、Rimini Street, Inc.の登録商標です。他のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本文書はRimini Street, Inc. (以下、「Rimini Street」) によって作成されたものであり、Oracle Corporation, SAP SEまたは他の当事者によって保証または推奨されるものではなく、これらに帰属するものでもありません。Rimini Streetは、書面による特段の定めがない限り、商品適格性または特定目的適合性の暗示の保証を無制限に含むがこれらに限られない、提示されている情報に関連する一切の責任を負わず、明示、暗示または法定の保証から免責されます。Rimini Streetは、情報の使用または情報を使用できないことから生じる、直接的、間接的、派生的、懲罰的、特別、または付随的損害の責任を一切負いません。Rimini Streetは、第三者によって提供される情報の正確性または完全性について何らの表明または保証をすることなく、情報、サービスまたは製品を随時変更する権利を留保します。